

子宮頸がん予防ワクチンの拡充について

健康寿命推進室 母子保健課

1. 政策等の背景・目的及び効果

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルス感染で生じ、原因となるウイルスのタイプは少なくとも15種類あります。本市では、国の方針に基づき、子宮頸がんの予防に有効とされる子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）について、積極的勧奨を実施するとともに、これまで接種機会を逸した方への接種機会を確保するため、定期接種の対象年齢を超えて行う「キャッチアップ接種」を実施しているところです。

今般、国において、現在定期接種の対象としている2種類のワクチンに加え、新たなワクチンとして、令和5（2023年）年4月から「9価HPVワクチン」を定期接種の対象とすることが決定されたため、本市においても令和5年（2023年）4月より、定期接種において「9価HPVワクチン」の接種を開始するものです。

2. 内容

(1) 子宮頸がん予防ワクチン（定期接種の実施状況）

定期接種			
対象	年度内に12歳～16歳となる女子（小学校6年～高校1年相当）		
接種料金	無料		
接種場所	取り扱い医療機関		
回数	3回		
	種類	名称	効果
ワクチンの種類	2価 HPVワクチン	サーバリックス	子宮頸がんをおこしやすいタイプであるHPV16型と18型の感染を防ぐ
	4価 HPVワクチン	ガーダシル	HPV16型と18型、尖圭コンジローマの原因となるHPV6型と11型の感染を防ぐ
	9価 HPVワクチン	シルガード9	HPV6型、11型、16型、18型、31型、33型、45型、52型及び58型の感染を防ぐ

新たに追加

※上記に加え、キャッチアップ接種として、平成9年度（1997年度）から平成17年度（2005年度）生まれまでの女子（令和5年度（2023年度）は平成18年度（2006年度）生まれまでの女子）を対象にワクチン接種を実施。実施期間：令和4年（2022年）4月～令和7年（2025年）3月

(2) 周知方法

子宮頸がん予防ワクチン接種についての周知に合わせて、9価HPVワクチンについても、周知を行います。方法としては、ホームページ、ひらかた健康便利帳等に掲載するとともに、対象者へ、ワクチンの種類や接種スケジュール、回数、接種時の注意事項、取り扱い医療機関等を記載した通知および予診票を順次送付します。

(3) 接種見込（定期接種、キャッチアップ接種含む）

7,410件（対象者22,250人、接種回数3回、接種率11.1%）

3. 今後のスケジュール（子宮頸がん予防ワクチンについて）

- | | |
|----------------|--|
| 令和5年（2023年）4月 | これまでの2価、4価HPVワクチンに加え、9価HPVワクチン接種開始
ホームページ、広報ひらかた、SNSに掲載 |
| 令和5年（2023年）5月 | ひらかた健康便利帳の全戸配布 |
| 令和5年（2023年）6月～ | 順次、対象者へ子宮頸がん予防ワクチン接種について個別通知を実施 |

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
施策目標7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち



5. 関係法令・条例等

予防接種法

6. 事業費・財源及びコスト

令和5年度（2023年度）予算額

《事業費》 237,098 千円（令和5年度（2023年度）当初予算に計上予定）

支出内訳 子宮頸がん予防接種委託料 226,704 千円

事務委託料、補助金、諸経費 10,394 千円

合計 237,098 千円

《財源》 一般財源 237,098 千円（地方交付税措置）

令和4年度（2022年度）予算額

《事業費》 232,744 千円

支出内訳 子宮頸がん予防接種委託料 226,685 千円

事務委託料、補助金、諸経費 6,059 千円

合計 232,744 千円

《財源》 一般財源 232,744 千円（地方交付税措置）